

災害の恐ろしさを知る

災害についての
おたすねは
総務課防災係
(6606)

このたびの集中豪雨は、河川のはんらんや道路の断裂、土砂崩れなどを引き起こし、尊い命を奪う大惨事となりました。
自然の脅威を思い知らされるとともに、日ごろからの防災の大切さを再認識させられました。
家庭や職場、地域などで、改めて防災について考えましよう。

神戸川のはんらんによる冠水
(7月19日 所原町)
護岸が崩壊し、流失した田
(7月19日 佐田町)
斜面崩落の危険が高まり一時
全面通行止めになった国道9号
(7月21日 多伎町)
平田高校に避難する市民
(7月19日 平田町)



被害状況 (7月31日現在)

- 1・人的被害
死者 2名
行方不明者 1名
けが人等 なし
- 2・住宅被害
全壊 4棟
(住家0棟、非住家4棟)
一部損壊 11棟
(住家5棟、非住家6棟)
床上浸水 148棟
(住家135棟、非住家13棟)
床下浸水 90棟
- 3・公共土木
道路 240件
橋梁 7件
- 4・農業土木
河川 61件
公園 7件
農道・排水路等 408件
林道・林地 96件
- 5・農畜産物
水稲 325ヘクタール
野菜・果樹園等 63ヘクタール
畜産 牛10頭
ハウス・牛舎・農業設備等 52棟

このたびの豪雨災害で被災された市民の皆さまへ心からお見舞い申し上げます

7月17日未明から降り続いた豪雨・大出水により、出雲市内でも、住宅の一部損壊、床上・床下浸水があったほか、宅地、農地、農業施設や学校、公園などにも実に大きな被害を受けたところです。
何よりも、3人の尊い人命が失われたことは、誠に残念であり、痛恨の極みであります。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

また、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。被災地では、消防団や自主防災組織をはじめ、市内外や他県から多数のボランティアの皆さまにご協力をいただき、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

市としては、1日も早く被災者の皆さまの生活基盤の安定と復旧を実現するとともに、このような異常な気候・大出水の再来に備え、国・県等関係機関と協力して、神戸川上流部改修を含む『斐伊川・神戸川治水事業』の一刻も早い完成をはじめ、都市基盤の強化に全力で取り組む決意であります。

今回の豪雨に当たっては、早々に災害対策本部を設置し、全庁一体となって日夜懸命に対応してまいりましたが、この経験を活かし、情報伝達や避難誘導など、今後に向かってさらに工夫・改善に努めてまいります。

さらに、防災体制を徹底的に検証し、行政と市民の皆さまが手を取り合って、防災ネットワークの構築に万全を期し、安心・安全なまちづくりを強力に進めてまいります。

出雲市長 西尾理弘